

様式第 17 (第 8 条関係)

1 製造所
危険物貯蔵所廃止届出書
取扱所

| | | |
|--|-------|--|
| 2 ○○年 ○○月 ○○日 | | |
| 佐久広域連合 広域連合長 殿 届出者 住所 3 ○○県○○市○○町○○番地○ (電話○○○-○○○○) | | |
| 氏名 株式会社○○ 代表取締役 ○○ ○○ | | |
| 設置者 | 住所 | 4 ○○県○○市○○町○○番地○ 電話 ○○○-○○○○ |
| | 氏名 | 株式会社○○ 代表取締役 ○○ ○○ |
| 設置場所 | | 5 ○○県○○市○○町○○番地○ |
| 設置の許可年月日 及び許可番号 | | 7 ○○年○○月○○日佐久広域連合消防本部指令第○-○号 |
| 設置の完成検査年月日 及び検査番号 | | 6 ○○年○○月○○日佐久広域連合消防本部指令第○-○号 |
| 製造所等の別 | | 8 貯蔵所 貯蔵所又は 取扱所の区分 屋内貯蔵所 |
| 危険物の類、品名(指定数量)、最大数量 | | 9 第 4 類第 2 石油類 (1,000ℓ) 2,000ℓ 指定数量 の倍数 2.0 倍 |
| 廃止年月日 | | 10 ○○年○○月○○日 |
| 廃止の理由 | | 11 撤去 |
| 残存危険物の処理 | | 12 貯蔵危険物は、別の屋内貯蔵所で貯蔵する。 |
| ※ 受付欄 | ※ 経過欄 | ※ 備考 |
| | | |

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

〔危険物製造所等廃止届記入要領〕

- 1 届出書名称の製造所・貯蔵所・取扱所は、該当する施設以外を二重線で抹消する。
- 2 届出日（届出提出日）を記入する。
- 3 届出者の住所及び氏名は、届出に係る製造所等の設置者、管理者、占有者の住所及び氏名を記載する。なお、設置者であることが望ましい。届出者が設置者等と異なる場合は、委任状等を添付する。
- 4 許可申請書に記載されている設置者と同一の者とする。
- 5 許可申請書に記載されている設置場所と同一の場所とする。
- 6 設置許可番号及び設置許可年月日を記入する。
- 7 設置完成検査番号及び設置完成検査年月日を記入する。
- 8 製造所等の別は、製造所は「製造所」、〇〇貯蔵所は「貯蔵所」、〇〇取扱所は「取扱所」と記入する。
貯蔵所又は取扱所の区分は、危政令第2条又は危政令第3条に規定する区分により記入する。製造所の場合は、斜線により抹消する。
- 9 許可されている危険物の類、品名、最大数量及び指定数量の倍数を記載する。
- 10 届出日より前の日付を記入する（ただし、原則として7日以内）。
- 11 廃止した理由を簡潔に記入する。

（例）廃業

ガス燃料機器への更新

セルフスタンドへの全面改装

- 12 残存危険物の処理及び廃止するために講じる措置を記入する。特に、製造所等の廃止に伴い地下貯蔵タンクの撤去を伴う場合は、工事計画書を添付する。

なお、完成検査済証又は液体危険物タンクのタンク検査済証を返却できない場合は、返却できない理由とともにその旨を記載する。

| 例 | |
|-------------------|---|
| 反応槽を持つ製造所を廃止する場合 | 反応槽及び配管は、危険物抜き取り後、洗浄し、窒素置換した後にすべて撤去する。 |
| 地下タンク貯蔵所の廃止の場合 | 別紙によりタンクを掘り起し撤去する。 |
| | タンク内に砂及び水を充てん、地上配管、注入口は撤去、埋設配管は止め具を設ける。 |
| 完成検査済証等を紛失した場合の追記 | なお、完成検査済証は紛失のため未返却 |